

第2章

緑のまちづくりに対する市民の声

1 アンケート調査の概要

本計画を策定するにあたり、計画に市民の多くの意見を反映させるため、緑のまちづくりに関する市民の意向を、アンケート調査によって把握しました。

■ アンケート調査の実施概要

○ アンケート対象者

・ 市内在住の18歳から75歳までの方から、約2,000人を無作為に抽出

○ 配布・回収方法

・ 郵送による配布、郵送による回収

○ 調査実施期間

・ 平成19年7月19日～8月6日

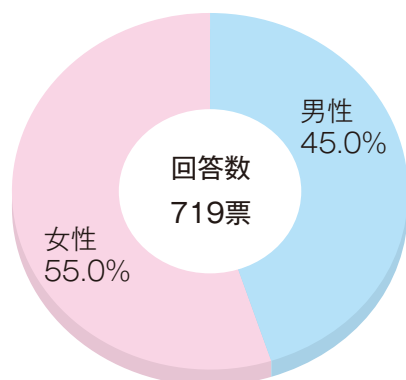
○ 回収結果

・ 回収数719票（回収率35.9%）

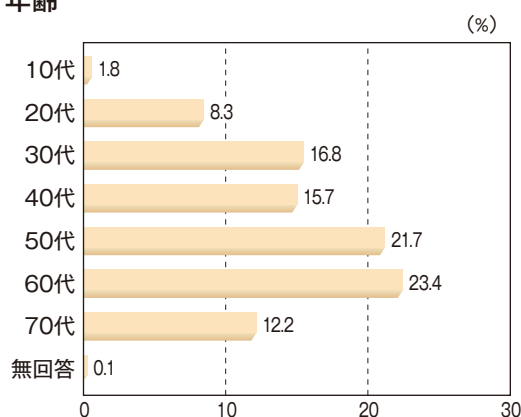
2 アンケート調査の結果

(1) 回答者の属性

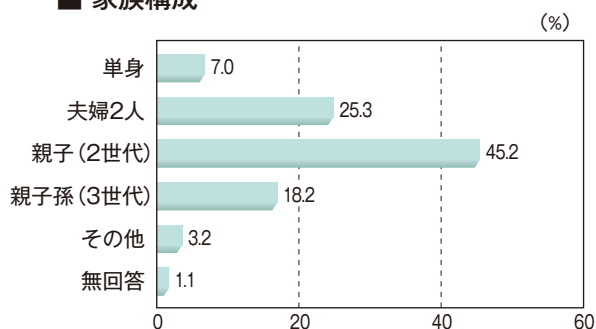
■ 性別



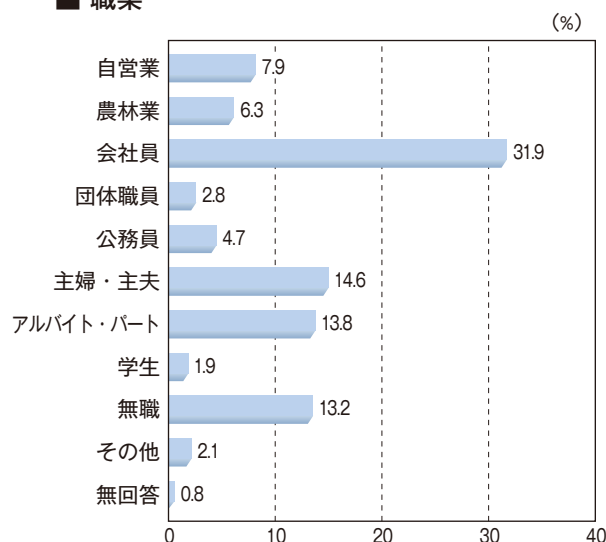
■ 年齢



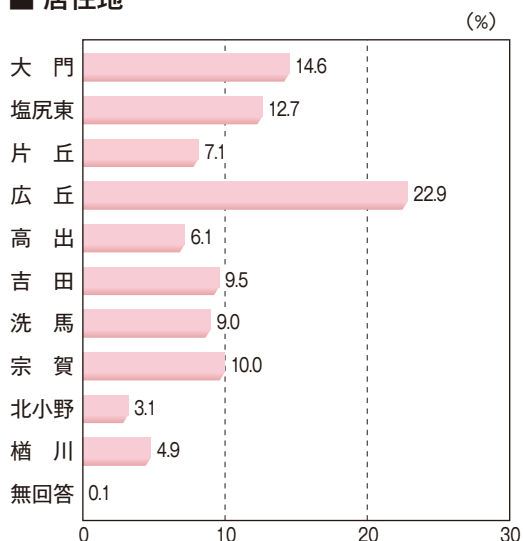
■ 家族構成



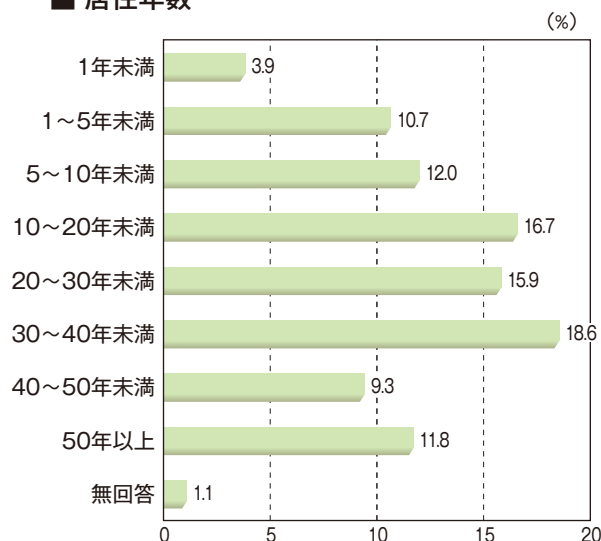
■ 職業



■ 居住地

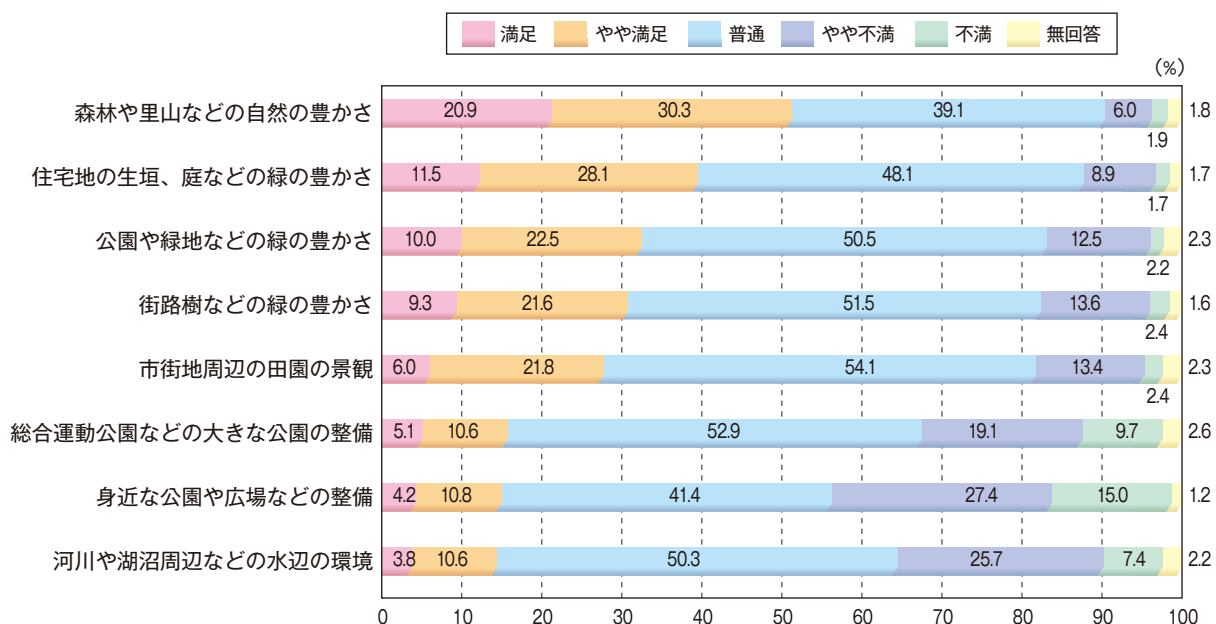


■ 居住年数



(2) 緑のまちづくりの現状について

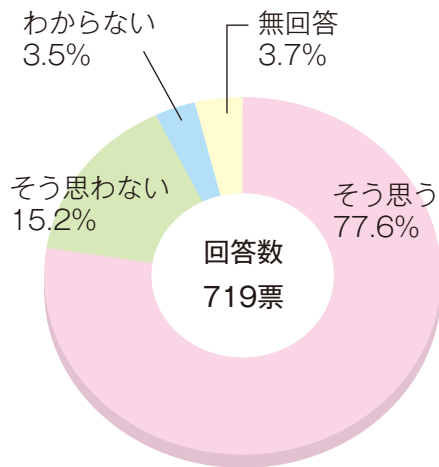
1) 塩尻市の現状について、あなたの考え方に近いものはどれですか？



- ・緑のまちづくりの現状については、「森林や里山などの自然の豊かさ」への満足度が51.2%と概ね満足している状況を示しており、次いで「住宅地の生垣、庭などの緑の豊かさ」「公園や緑地などの緑の豊かさ」「街路樹などの緑の豊かさ」となっています。
- ・一方、不満と思っている項目は、「身近な公園や広場などの整備」(42.4%)「河川や湖沼周辺などの水辺の環境」(33.1%)「総合運動公園などの大きな公園の整備」(28.8%)の順となっています。

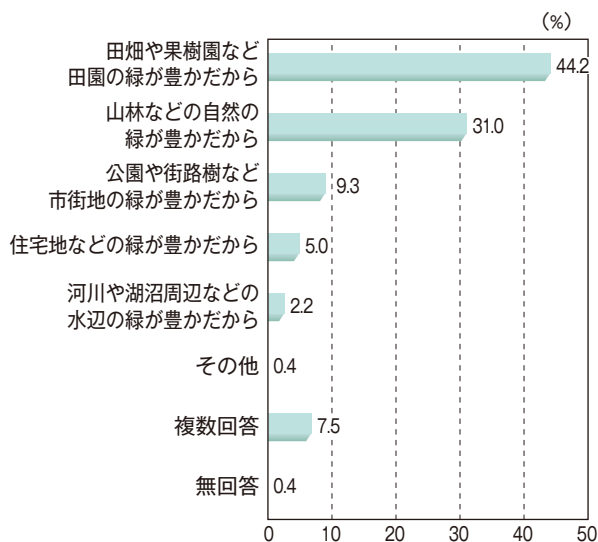
(3) 塩尻市の緑に関して

1) - 1 塩尻市は緑が豊かなまちだと思いますか？

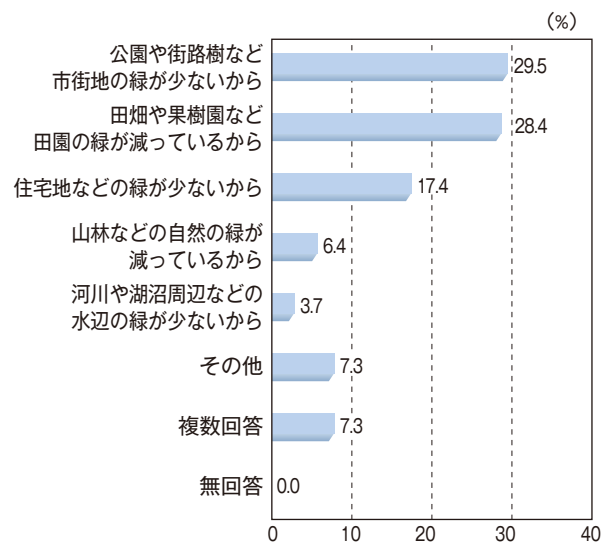


- ・緑の豊かさについては、7割以上の方が「そう思う」と回答しています。
- ・緑が豊かであると思う理由は、「田園の緑が豊かだから」(44.2%)「自然の緑が豊かだから」(31.0%)の回答が特に多くなっています。
- ・緑が豊かでないと思う理由は、「市街地の緑が少ないから」(29.5%)「田園の緑が減っているから」(28.4%)の順に回答が多くなっています。

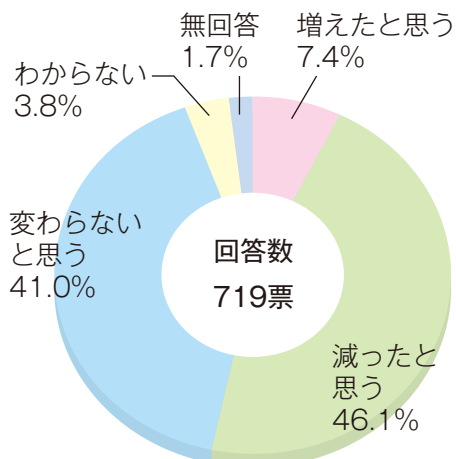
1) - 2 「そう思う」理由は何ですか？



1) - 3 「そう思わない」理由は何ですか？

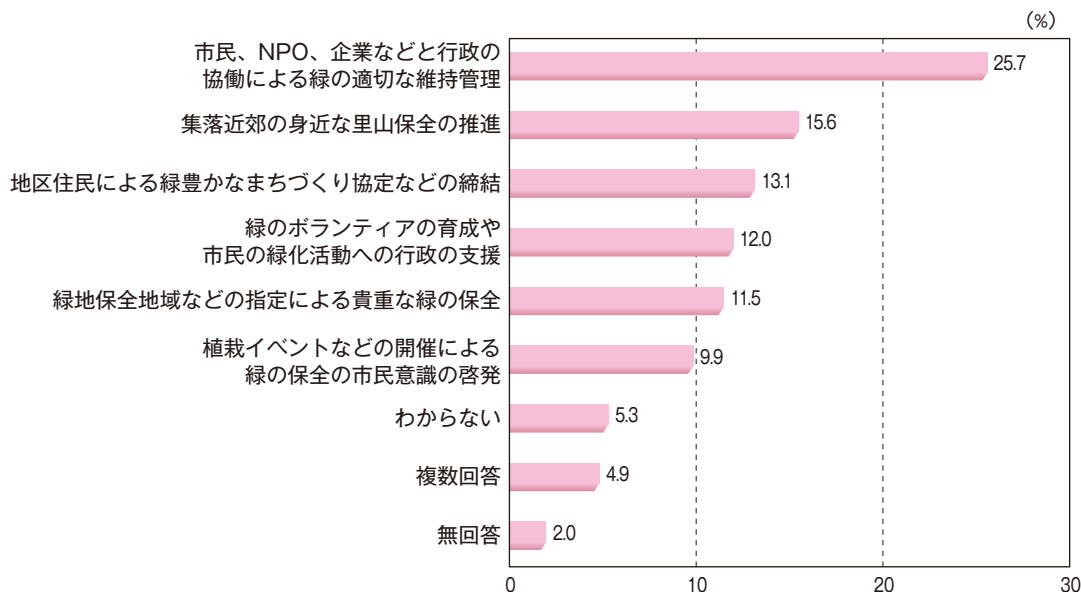


2) あなたが住み始めた頃と比べて、周辺の緑はどのように変化したと思いますか？



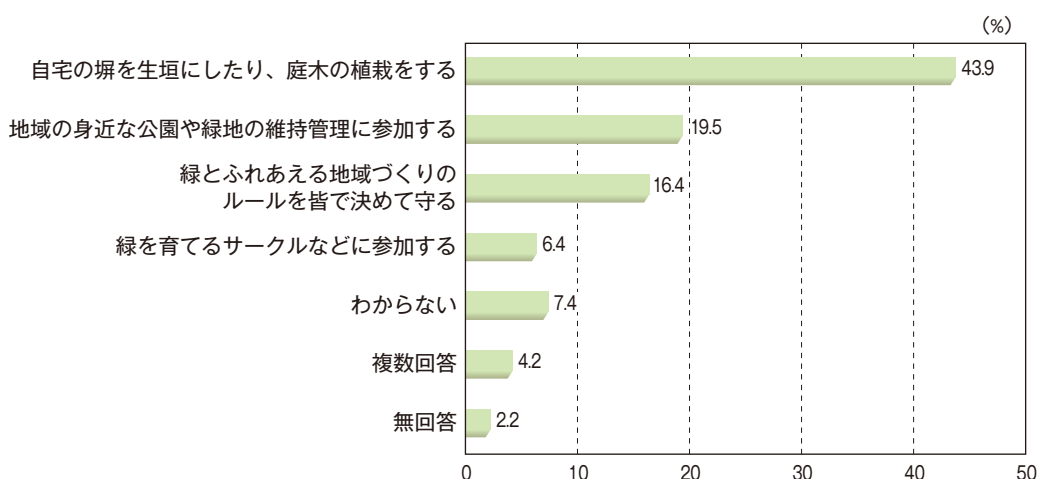
- ・住み始めた頃と比べて周辺の緑の変化については、回答者の46.1%が「減ったと思う」、41.0%が「変わらないと思う」と回答しています。
- ・一方、「増えたと思う」と回答している人は、回答者の7.4%と少なくなっています。

3) 今後、塩尻市の緑を保全していくためにはどのような取り組みが必要だと思いますか？



・緑を保全していくために必要な取り組みは、「市民、NPO、企業などと行政の協働による緑の適切な維持管理」が25.7%と最も高く、次いで「集落近郊の身近な里山保全の推進」「地区住民による緑豊かなまちづくり協定の締結」の順となっています。

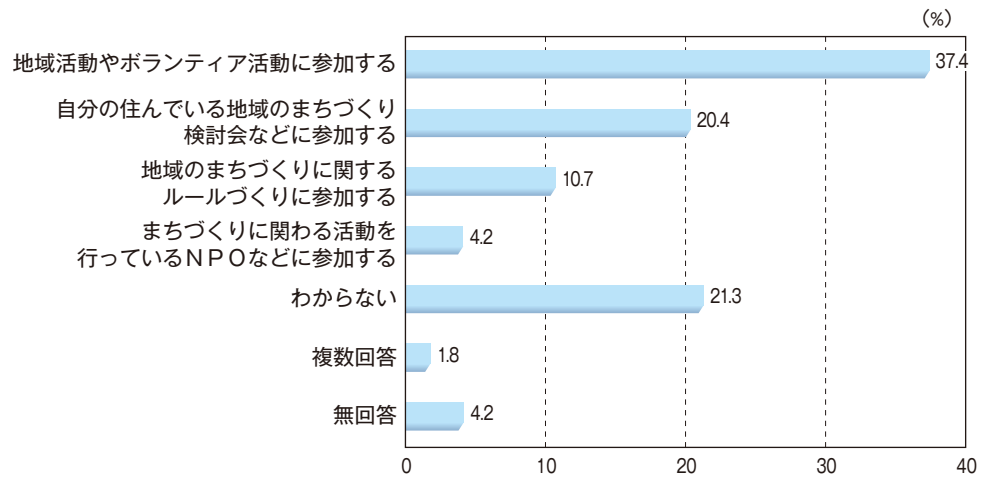
4) あなたが緑を増やすためにできること、行っても良いと思うことはなんですか？



・緑を増やすために行ってもよいと思うことは、「自宅の塀を生垣にしたり、庭木の植栽をする」が43.9%と最も高く、次いで「公園や緑地の維持管理に参加する」「地域づくりのルールを皆で決めて守る」の順となっています。

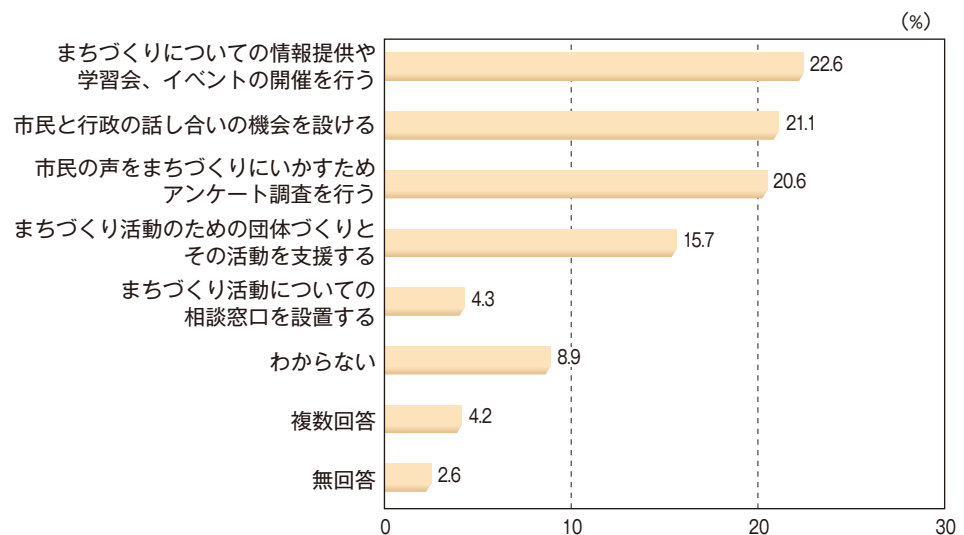
(4) 住民が参画したまちづくりについて

1) まちづくりのために行っても良いと思うことはなんですか？



- ・まちづくりのために行っても良いと思うことは、「地域活動やボランティア活動に参加する」が37.4%と最も高く、次いで「地域のまちづくり検討会に参加する」「地域のまちづくりに関するルールづくりに参加する」の順となっています。

2) まちづくりに参加するために行政にして欲しいことはなんですか？



- ・まちづくりに参加するために行政にして欲しいことは、「情報提供や学習会、イベントの開催を行う」が22.6%と最も高く、次いで「市民と行政の話し合いの機会を設ける」「市民の声をまちづくりにいかすためアンケート調査を行う」の順となっています。